学校番号	３１１

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	情報の表現と管理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『情報の表現と管理』（実教出版）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文字、図形、音、静止画および動画等の特性や役割について理解し、コンピュータを用いて表現、管理することを学びましょう。
・教科書で図形、音、静止画および動画等の特徴や処理の仕方の基本を学び、コンピュータを用いて課題制作を行うことにより体験的に理解し、実践しましょう。

２　学習の到達目標

・文字、画像、動画、音等をコンピュータを使って目的に応じた情報を適切に表現、管理し、活用することができる。
・情報を収集、整理、加工、表現するなどの活動を適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を習得する。
・情報の取扱いに関する法規や情報セキュリティの管理などの学習活動を通して情報社会における情報の必要性や重要性について考えることができ、これらを正しく取り扱うことのできる能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・コンピュータで制作する課題について関心をもち、主体的に取り組もうとする意欲や態度。 ・情報モラルや情報に対する責任を踏まえて課題制作を行おうとする態度。	・基礎的な知識と技術を身に付け、それを応用し、創造的な思考を養い表現する。 ・情報の特性を理解し、適した表現方法を判断できる力。	・目的に応じてアプリケーションソフトウェアを適切に活用できる技能。 ・複数のデータを組み合わせて表現する技能。	・情報を適切に表現、管理するための方法を知識として身につけ理解する。 ・情報に関する法、制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解。
評価方法	授業への取り組み態度 実習で制作した課題	授業への取り組み態度 小テスト	授業への取り組み態度 実習で制作した課題	授業への取り組み態度 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報活用とメディア	メディアの種類と特性 (科目を学ぶ意義)		○		○	b: 文字、音、静止画、動画の特色を踏まえて例をあげて分類できる。情報伝達の方法と種類を分類できる。 d: メディアの種類、特性、発達の過程を理解できる。	実習態度 ノートの記述
	情報の管理	コンピュータによる情報の管理と活用 (階層、フォルダ、ファイルの理解)		○	○	○	b:管理したい情報に適した階層を作成できる。 c:階層の理解ができ、適切なフォルダ名、ファイル名を付けることができる。 d:階層、フォルダ、ファイルの違いが理解できる。	実習で制作した課題 フォルダ内のデータ整理状態
	情報の表現	プレゼンテーション (プレゼンテーションソフト)			○	○	c:ストーリーを作成できる。 ソフトウェアが使える。 最後まで完成している。 d:プレゼンテーションの意義を理解できる。 プレゼンテーションに用いるソフトウェアの役割について理解できる。	実習態度 実習で制作した課題 ノートの記述
	情報の表現	画像による表現 (3DCG)	○		○	○	a:情報伝達に必要な画像を意識して案を練ることができる。 c:ソフトの使い方が分かる。 d:拡張子の違いが理解できる。	実習で制作した課題 小テスト
	情報の表現	動画像による表現 (アニメーション GIF)	○		○		a: 動画像の案を練ることができる。 c: アニメーションGIF や動画像編集ソフトの使い方が分かる。	実習で制作した課題 ノートの記述
2学期	情報の表現	文書による表現 (ワープロソフト)	○		○		a:伝えたい内容をまとめることができる。 c:ワードプロソフトの使い方が分かる。	実習で制作した課題 ノートの記述

2学期	情報の表現	図解による表現 （表計算ソフト）		○	○		b:適切な表やグラフを作成することができる。 c:表計算ソフトの使い方が分かる。 表からグラフを作成することができる。	実習で制作した課題 小テスト
	情報の表現	画像による表現 （ペイント系、ドロー系、写真の加工）			○	○	c:ソフトの使い方が分かる。 d:拡張子の違いが理解できる。	実習で制作した課題 小テスト
3学期	情報の表現	ネットワークを利用した情報発信 （電子メール）		○	○		b:発信する前に表現や内容を確認し、必要な修正が行える。 レイアウトが工夫されている。 c:電子メール等のインターネット上のサービスを適切に使いこなせる。	実習で制作した課題 メール送信 小テスト
	情報の表現	音による表現 （音作成ソフト）			○	○	c:音作成ソフトの使い方が分かる。 d:音声のディジタル化について理解できる。	実習で制作した課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。